

Message

それぞれの想いがまちをつくる

Ideas Coming Together to Create a City

市民の描く「理想の未来」の実現に向けて進めるまちづくりにおいて、大切にしていきたい、「まちづくりの基本的な考え方」。

知多市らしさを生かしながら、このまちを良くしようと活動している人たちがいます。

その想いと、大切にしていきたいまちの良さを聞きました。

The “basic concept of city planning” is essential as we proceed to realize the “ideal future” envisioned by our citizens.
There are people utilizing our city's unique characteristics to actively improve Chita City.
We asked them for their thoughts about the good qualities of the city they want to treasure.

Interviews 01



女優

糸瀬七葉さん

「知多市に行きたい」と
思っています

雑誌やドラマ、映画などで同じくらい年齢の子が活躍している姿を見て、芸能界に憧れを持ちました。中学1年生のころ「ミス・ティーン・ジャパン」に挑戦し、念願の芸能界に入ることができました。

知多市に住んでいて思うのは、公園が多く、海もあって自然に囲まれ魅力的なまちだということです。特に新舞子マリンパークは2、3歳のころから遊びに行っていた場所でも思い出があります。また、「梅の館」も普段から家族で遊びに行っていた施設です。梅まつりでは、たくさんの梅の花が咲きとてもきれいで、友だちが出演しているダンスなどを見に行った思い出もあります。

知多市には自然がたくさんあり親しみやすいまちなので、愛知県にきたら知多市に行きたいと思ってもらえるようなまちになってほしいと思っています。

私の活動を通じて、
「知多市に行きたい」と
思っています



OKD KOMINAKA BREWING
範文亭

新美 泰樹さん

周りの人が
「岡田に住んでいいな」と
うらやましく思えるまちづくりを



岡田のまちを自分の手で「元気にしたい」と思い、古民家を改修してお店と醸造場を立ち上げました。「ここでオリジナルのビールは売れないのでは？」とも言われましたが、出荷は順調に増えており、店に来て「岡田の街並みを知った」という方やOKDのビールを目的に県外から訪れるお客さんもいます。

さらに元気なまちを目指して、新たなお店の出店も考えています。「岡田に住んでいいな」とうらやましく思ってもらえるまちになるように、まちづくりに携わる方と協力して、住む人が誇りを持って参加できるイベントの開催も考えています。そして、未来を担う子どもたちが、このまちに住んでいることを誇りに思えるようになればうれしいです。

Interviews 02



Interviews 03

ベトナム café ラム オーナー
ラム ガン ジャンさん

結婚を機に知多市に住み始めて今年で19年。数年前に、市民活動センター内の手作りカフェ「Ada-coda」でシェフを始めたことがきっかけで、今では市役所で多文化共生に関わる仕事もしています。

市内には、ベトナムをはじめ、いろいろな国の人が住んでいます。元々ベトナム人の支援をしていましたが、「人が集まれる場所をつくりたい」と思い、2019年の8月に外国人が多く暮らすつつじが丘の朝倉団地内にカフェをオープンしました。日本に働きに来ている子たちが、仕事が休みの日にお店を手伝いにきてくれます。

これからも、料理などを通して、知多市の人にベトナムのことを知ってほしいと思っています。



料理などを通して、
ベトナムのことを知ってほしい

参加者たちが喜んで
顔を見ることがやりがい

Interviews 04

南粕谷ハウス
今井 秀明さん

南粕谷ハウスは、地域に開かれた交流の場として、2013年3月にオープンしました。私が本格的に関わるようになったのは2017年から。8つのハウスのモットーのうち、「情報拠点」「若者や子どもが集える場所」の2つを伸ばしていくが必要だと思ったからです。その後、ホームページを見直したり、母親が対象のイベントを企画したり、徐々に認知されてきたかなと思っています。

ハウスで開催されるサークル活動やさまざまなイベントには、地域の方以外にも、市外からの方も多います。

私自身、講師をしたり、地区の人とバンドを始めたりと楽しく活動する中で、人とのつながりが大きく広がりました。講師や参加者の方がよこご顔を見ることにやりがいを感じています。



楽しみながら
交流を続けていきたい



Interviews 06

八幡台みんなのサロン 代表
勝木 康夫さん

サラリーマン時代には地域とのつながりはありませんでしたが、市が開校している「大人の学校」に参加したことで変わりました。大人の学校が終わってしまい「楽しい集まりを終わらせたくない」との思いから、八幡台町内会でまちづくり会議を開き、話し合いを重ねた結果、「八幡台みんなのサロン」を2016年8月にオープンすることができました。

現在は自治会活動のひとつとして、9教室に100人以上が通っています。講師は地域の方で、時には講師が違う教室の生徒になることもあります。みんな20歳は若く見えるほどいきいきしています。

八幡台に住む人たちはみんなが家族。サロンを通じて、地域の交流が深まったと感じています。地域のため、そして自分のために、楽しみながら交流を続けていきたいです。



思いはさまざま
ともに笑い合える子育てを目指して



Interviews 05

児童発達支援事業所 nico 代表
片山 麻有さん

第1子の子育て中は、さまざまな葛藤があり子育てを楽しむ余裕がありませんでした。第2子を育て始めてから、同じ思いを抱えるお母さんたちの力になりたいと思うようになりました。ベビーマッサージ教室をはじめ、「ひとりで気負わなくても、子育ては楽しいよ」と伝えるため子育て団体に加入したり、まちづくりワークショップイベントを開催したりしました。その中で、地域に「障がいのある子どもたちを支援できる施設がもっとあっていいかもしれない」と思うようになり、児童発達支援事業所と一緒に甘味処を始めました。ここを巣立った子どもたちが、気軽に立ち寄れる場所にもなればと思っています。

私は、子どもたちにまず「自分を大切に」すること、そして「自分の気持ちを相手に伝える」ことの大切さを伝えています。障がいの有無や、性別も関係なく、地域で暮らす一員として、誰もが尊重される社会であってほしいと思っています。

